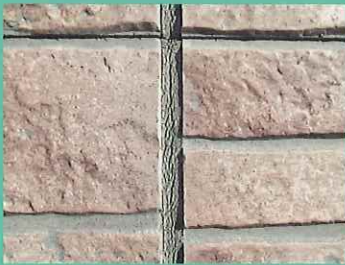




こんな症状が出たら 黄色信号 専門家へのご相談を オススメします



手に白い粉が付く



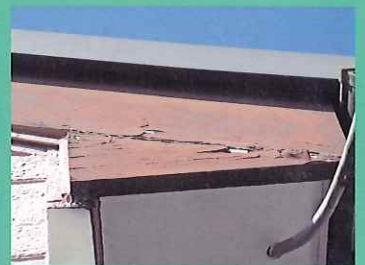
シーリングの劣化



ひび割れ



カビやコケ



剥がれ

業社選び 3つのポイント

1 塗装工事業の建設業許可証を取得していること

許可取得の用件の1つに施工管理技士、塗装技能士などの資格を有する専任者がいること。また塗装工事について実務経験が通算で10年以上としておりますが、これらは最低限の要件が維持出来ているものと考えます。

2 地元の塗装専門店であること

塗装工事を行ってくれる業者には、建ててくれた工務店、ハウスメーカー、また塗装専門店等がありますが、なんととっても近場の塗装専門店がコスト面、品質面で安心です。

3 「塗膜性能保証書」が発行されること

塗膜の保証期間は最長5年間です。その間に起こったフクレはがれに対しては補修工事が約束されます。万が一施工した会社が倒産した場合でも一般社団法人 日本塗装工業会が保証を引き継ぎます。

こんな業社は要注意

◆キャンペーン商法、値引き商法

「モニターキャンペーンをやっておりまして、弊社の塗装のモニターになってくれるなら、今日までなら200万円の工事を半額でやらせていただきます。」

キャンペーンと偽って、しかも半額など思考停止にするようなことをいい「早く契約しないと、損をするのでは?」と思わせて契約します。

半額にするということは、そもそも100万円で可能な工事を200万円と言っているだけのことなのです。

◆不安商法

「一刻も早く工事をしないと、取り返しのつかないことになります!」

屋根や外壁は数年をかけて、少しずつ劣化していくものです。数日で大きく状況が変わるものではありません。



一般社団法人 日本塗装工業会は創立70年 全国2,300社が加盟する建設塗装工事業唯一の全国組織です

日塗装は、技術と技能を大切にします。
全国2,300社が加盟する

一般社団法人 日本塗装工業会

〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町
19-22(塗装会館)

<http://www.nittoso.or.jp>



ペインテナンスのご相談は下記のあなたの街の塗装店へ